

令和2年度 第2回学校運営協議会

日時：令和2年10月22日（木） 15：00～17：00

場所：大阪府立中央聴覚支援学校 高等部4階会議室

1 開会

2 学校長挨拶

3 学校の様子について

幼小中高各学部及び寄宿舎の様子について報告

4 議事

①令和2年度 学校経営計画（中間報告）について 赤木校長より説明

<委員からの意見・質問及び回答>

○学校安全に関して

- ・小学部では、コロナ感染症対策のためになくなった宿泊学習の代替行事として、夜に学校で過ごす行事を行ったとのことであるが、このような行事は防災訓練（夜間の避難所体験）としても取り組めるのではないかと。
- ・本校で実施している地域の防災訓練も、今年は規模を縮小して行った。集まる訓練だけでなく、援助を求めるシールを各戸に配布する活動なども実施している。地域の安全対策と共に、本校に通う子どもたちも地域の子どもと考へ、全面的な協力をしていきたい。
- ・体の安全安心と併せて、心の安全安心も意識して取り組んでほしい。仲間との心のつながりや理解が進むような取り組みも大切。
- ・この学校運営協議会の場でも、活動や様子の報告だけでなく子どもたちの成長変化や課題についてももっと協議するべきである。

○教職員の専門性の向上に関して

- ・どこの学校でも教員の年齢構成が若い層に偏っている中、研究授業をするだけでは専門性の向上につながりにくい。本校ではどのような取り組みがあるか。
→今年度は幼稚部で府教委のパッケージ研修を受けている。校内のさまざまな研究授業の際にはビデオ撮影による振り返り、アドバイスシートなどを活用している。
中高の教科連絡会も継続して実施している。
- ・中高の連携ができる一貫校の強みを活かしてぜひ続けてほしい。
- ・教科研究以外にはどのような研修をしているのか。

→全校の教員対象に人権研修を3回実施した（体罰防止・個人情報セキュリティ・障がい理解）。幼小合同、中高合同の各研修会でも早期支援や発達障がいについて研修を行う。生徒へのかかわり方についての研修は、実際に動いてみないとわからない。教員同士が声をかけあえる風通しのよい学校にしたい。

○地域支援に関して

- ・地域の学校でもICTの導入が進んでいるが、難聴の児童生徒は下を向いてタブレットを見ながら同時に先生の話聞くなどということは難しい。そういったことも含めてアドバイスをしてほしい。
- ・視聴覚情報の工夫については、著作権の問題への配慮は必要だが、きこえにくい子どもにとって字幕は大切だというアピールもしてほしい。字幕のない映像を見て通訳するのでは情報が洩れる。

②令和2年度 授業アンケートについて 赤木校長より説明

<委員からの意見>

- ・中高の生徒は思春期であることから教員を厳しい目で見ているということもある。各教科での傾向を見るのも立体的に判断できる方法かと思う。
- ・手話の力量や話の面白さで判断すると人気投票のようになってしまうことがある。また、本校は生徒数が多くないので、データだけで見るのではなく、管理職などが授業を見るということも必要。
- ・生徒の成績と教員への評価をクロスして見るのもよいのではないか。

5 事務局より連絡

6 閉会